

図書館だより



発行:九州看護福祉大学附属図書館
〒865-0062 熊本県玉名市富尾 888 番地
TEL 0968-75-1840 FAX 0968-75-1873

表紙写真については5ページへ

**エッセイ・おススメ図書は
口腔保健学科**



**特集 ILLの利用方法
図書館ウィークのおしらせ**

《Contents》

- ◇ **教員エッセイ**
口腔保健学科
教授 藤原愛子先生 p.2-3
- ◇ **教員おススメ図書**
口腔保健学科
助教 松尾 文先生 p.4
- ◇ **開館カレンダー** p.5-6
- ◇ **図書館の利用** p.7
- ◇ **お知らせ・編集後記** p.8

図書館で暮らす？

口腔保健学科 教授 藤原 愛子



ちょうど読みかけていた本に、『15歳の誕生日がやってきたとき、僕は家を出て遠くの知らない街に行き、小さな図書館の片隅で暮らすようになった。』とありました。図書館で暮らすってどういうことなのだろう。本に囲まれた生活って、どんな生活なのだろう？想像し、そしてわくわくすることがいっぱいのプロローグです。

もちろん、私は図書館で暮らしたことはありません。しかし、小学生の頃は休憩時間になると一目散に図書館ならぬ図書室に向かっていました。海底二万マイルや十五少年漂流記はその頃夢中になった本ですが、今も一気に読み通させる魅力があります。高学年期には図書委員として、本のそばで過ごす権利を得たりもしました。中学時代は、文学書(?)を借り出して、自宅で読んでいました。あしながおじさん、(私たちの時代に) お定まりの赤毛のアンシリーズ、そしてなぜか獅子文六……。手当たり次第です。その後の自宅での読書は、夏目漱石、井上靖、芹沢光治良などと、やはり系統だっちはないのですが、日本人による日本人が主人公の作品に偏るようになりました。私には、漢字・ひらがなの名前のほうが、情景をイメージしやすいせいなのだろうと思います。

今も「日本人が主人公」の本を、紙のページをめくりながら読むのですが、読む場所は自宅のほかには新幹線や飛行機のなかなどが多くなりました。得られたその空間で、作者が描く世界にすっかり浸り、一息ついているようなのです。作者は、東野圭吾であったり村上春樹であったり……。九州看護福祉大学に赴任したことをきっかけに読み直した草枕は、高校生の時とは異なる色彩の世界でした。読書している場所が私の図書館なのかもしれません。

本学図書館には様々なジャンルの本が揃えられています。電子書籍もあるようです。皆さんも、専門書を読むばかりでなく、手にした「1冊の世界で暮らす」時間も楽しんでみてはいかがでしょうか。読みかけていた本は、図書館の片隅での暮らしを終えた少年に対する、『やがて君は眠る。そして目覚めたとき、君は新しい世界の一部になっている。』で締めくくられていました。

◇子どもは親を選んで生まれてくる

池川 明 著
日本文教社 2007年



口腔保健学科
助教 松尾 文

胎内記憶という言葉を知っていますか？この本を書かれた池川クリニック院長・池川明先生は胎内記憶・出生記憶を研究されており、他にも多くの著書があります。

胎内記憶は多くの場合3歳頃までしか覚えていないそうですが、大人になって覚えている人もいますそうです。胎内記憶、誕生記憶だけではなく、お腹に宿る前(中間生)の記憶や前世の記憶を持っている子もいるようです。驚くのは、見ず知らずの子どもたちが語る話が概ね共通しているということ。この本を読むと、子どもが母親を選んで生まれてきている、つまり自分も母親(自分の家族)を選んで生まれてきたということ、そして、何か目的を持って生まれてきている、自分は何のために生まれてきたのか？ということについて考えざるを得ません。私は子どもを妊娠してから池川先生の本を手にしりましたが、きっと人生に迷ったり、生きることに悩んだりした時に何かヒントを見つけられる本だと思います。

胎内記憶について興味のない人も、社会人になる前に、そして親になる前に一度読んでみてほしい一冊です。

開館カレンダー

◎2015年10月～2016年3月

- 通常開館 9:30 - 19:00
- 延長開館 9:30 - 20:00
- 短縮開館 9:30 - 18:00
- 休館日



10月

				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1月

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

3月

		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



*****表紙の紹介*****

今回の表紙は、口腔保健学科です。歯科診療の補助について学ぶ演習の様子です。学生間の相互実習により患者さんの立場や気持ちを知ることによって「心」についても学んでいるそうです。



図書館の利用

図書館に探している本や論文が所蔵していない時、他の図書館から取り寄せることができます。ILL(図書館間相互貸借)というもので、利用方法をご紹介します。

① ILLとは

資料を所蔵している大学図書館などから本を借りたり、論文の複写を送ってもらったりする図書館相互利用のことです。本を借り受けることを現物貸借、複写を送ってもらうことを文献複写といいます。
※ILLは有償サービスのため、料金が必要です。

② 申込方法

医中誌や CiNii 等のデータベースの検索結果の一覧に ILL の申込みボタンがあります。



クリックすると、Web サービスのログイン画面に切り替わるので、ID・パスワードを入力。

ログインすると・・・ILL の依頼内容になります

依頼区分 複写 貸借

支払区分 公費 私費 **学部生は私費にチェック**

予算 ==選択してください==

複写種別 電子複写 マイクロ マイクロ引込伸ばし **依頼の範囲** 国内まで 国外含む

送料方法 普通郵便 速達

図書/雑誌 図書 雑誌

書名または雑誌名 日本災害看護学会誌

ISBN/ISSN 13450204 ISSN:8桁 ISBN:10桁(または13桁)を入力してください

書誌ID

出版者

巻号 16(2) (例)1巻2号→1(2) **年次**

ページ **必須**

論文名 **必須**

論文の著者 **必須**

連絡事項

書誌典拠 医中誌Web magazine plus CiNii Articles EBSCO host その他

上記資料の情報源を選択してください

所蔵典拠 CiNii Books OPAC その他

学内に所蔵がないか確認を忘れずに！

学内所蔵を確認しましたか？ はい いいえ

入力内容確認 クリア

< 注意 > この画面では、申込みは完了していません！

「入力内容確認」をクリックすると、確認画面になります。確認画面で「入力内容確定」をクリックして申込み完了です！

わからないことがあれば図書館スタッフにおたずねください。

お知らせ

◎図書館ウィークについて

図書館では10月28日～11月9日までイベントを実施します！

①好きな本の会

参加者が自分の好きな本、お気に入りの本を紹介するイベントです。みんなでテーブルを囲んで楽しむお茶会形式なのでお気軽にご参加ください！
日時や場所は図書館スタッフまでおたずねください。

②企画展示

今回は2つの企画展示を実施します！
一つ目は選書ツアー図書を紹介です。10月3日の選書ツアーで参加学生が選んだ本をご紹介します。
二つ目の企画展示は、一般雑誌・コミック・点字絵本・自己啓発本の特集です。読書の秋を様々なジャンルの本で楽しんでみてはいかがでしょうか。

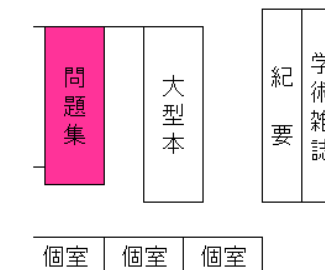
この他、献本配布や九州の大学図書館で行う共同キャンペーン Library Lover's 等を実施予定です。
皆さんの図書館への来館をお待ちしております！

◎ゼミ単位図書館利用説明会について

後期は、10月にゼミ単位の図書館利用説明会を実施します。ゼミ単位の説明会ですので、学科・学年に応じた内容をご提供できます。
興味がある方は、図書館またはゼミ、プレゼミの先生にご相談下さい。お申込お待ちしております。

◎国家試験、就職活動関係図書コーナー

図書館2階、個室の前の方に国家試験対策・就職関係本のコーナーがあります。国家試験、就職活動関係の本を探したいときや、OPAC 検索で「問題集・就職(2階)」と表示のある図書はこちらを探してみてください。
教員採用試験の過去問題集や参考書もこちらにあります。
“禁帯出”の赤いシールがない図書は貸出もできます。どうぞご利用ください。



編集後記

前回の26号に引き続き今回の27号も図書館の利用についてとりあげました。学生の皆さんがよく利用するシステム、サービスを中心に紹介しました。
お知らせは「図書館ウィーク」のイベントについて主に掲載しています。図書館に来館して楽しんでもらえれば幸いです。